

令和2年9月市議会定例会 一般質問

個別質問答弁書

質問第5号

飯島 伴典

議員

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

質問通告番号第	5	号	質問議員	飯島 伴典	議員	担当課	政策研究センター
質問要旨				答 弁			
1 スマートシティ構想についての質問				現在策定中の「第二次上田市総合計画後期まちづくり計画」は、市政推進の			
(1) スマートシティ構想について				最上位計画として、まちづくりビジョンが掲げる将来都市像の実現に向けて、			
ア 現在策定中の上田市スマートシティ化推進				来年度から5か年の間に、市として取り組むべき課題と施策の基本的な方向性			
計画と第二次上田市総合計画後期まちづく				を示すものです。			
り計画の項目はどのように関連しているか。							
今後、相関図を作成するなどにより、政策の				この「後期まちづくり計画」では、6つの施策大綱の分野横断的な重点プロ			
見える化を図る必要があると考えるが、対応				ジェクトの一つとして、新たに「最先端技術活用プロジェクト」を位置づけ、			
することはできるか。				最先端技術を暮らしや教育、産業などに最大限活用していきます。			
				後期まちづくり計画の「最先端技術活用プロジェクト」は、6つの施策大綱			
				ごとに、例えば、「AI、IoTを利活用した安全・安心な地域づくり」とい			
				うように、主な方向性を定めていますので、「上田市スマートシティ化推進計			
				画」は、後期まちづくり計画の個別計画として、この方向性に沿う形で、分野			
				別の具体的施策を盛り込んでいきます。			

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

質問通告番号第	5	号	質問議員	飯島 伴典	議員	担当課	学校教育課
質問要旨				答 弁			
1 スマートシティ構想についての質問				スマートシティ構想については、教育行政が主導的な立場で進めるものではありませんが、地方がかかえる固有の課題に対し、データを共有し、庁内の横断的な連携により検討していくことになると思います。			
(1) スマートシティ構想について							
(イ) コロナ禍により新しい生活様式の実践を求め る中で、ヘルスリテラシーの向上は重要 であるが、平成31年3月の一般質問では、 「小中学校での生きる力の教育の現状と課 題」を確認したが、現在の状況はどうか。				小中学校での「生きる力」の教育に関しては、知識や技能に加え、自分で課題を見つけ、自ら学び、考え、判断し、より良く問題を解決する力などの「確かな学力」をつけ、他人を思いやる心などの「豊かな人間性」を育み、たくましく生きるための「健康・体力」などの「生きる力」をバランス良く育てることを目指しています。			
				「生きる力」をつけるため、基礎的な知識や技能を身につけることはもちろんのこと、外国語教育、道徳教育、食育や情報教育、職場体験学習にも力を入れてきました。			

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

質問通告番号第	5	号	質問議員	飯島 伴典	議員	担当課	学校教育課
質問要旨				答 弁			
				<p>特に、グローバル化が急速に進展する中、豊かな国際感覚や外国語のコミュニケーション能力を向上させ、国際的な「生きる力」を子ども達に身につけてもらいたいと考えています。</p>			
				<p>一例を上げると、中学校の英語教育については、高度化する英語授業に対応するため、外国語指導助手（ALT）を交えた実践的な授業を実施したこと等から、英語検定3級以上取得者が平成27年度19.8%だったものが、令和元年度24.8%に増え、英語検定3級レベル者においても、平成27年度33.1%だったものが令和元度には46.3%に増えており、着実な成果を上げています。</p>			
				<p>小学校では、コロナ禍にあっても、自分で課題を見つけ、自ら学び、考え、判断し、行動する力は着実に育んできています。その例を挙げると、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、当初予定していた運動会の開催が出来なくなった学校がありますが、中止にするのではなく、児童会が中心となってダ</p>			

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

質問通告番号第	5	号	質問議員	飯島 伴典	議員	担当課	学校教育課
質問要旨				答 弁			
				<p>ンスや組体操の一人技の表現運動を計画し、体育館で保護者へ披露を行いました。</p>			
				<p>この発表会の開催にあたっては、児童会長から「運動会は残念でしたが、私たちの演技をみていただく機会に恵まれました」とのあいさつがあり、自ら計画、実行したことで達成感、充実感を得られたのではないかと思います。</p>			
				<p>このように、コロナ禍の状況にあっても、各校独自の取組を通し、自ら考え、判断して行動する「生きる力」を育てています。</p>			
<p>・健康に関する施策との関連づけやスマートシティでのデザインの視点をふまえた市長部局と教育委員会との連携はどのように考えるか。</p>				<p>スマートシティとは、人間の知恵と技術・ノウハウを使いこなして、環境にやさしく、自然の理にかなった心地良い暮らしを楽しめるまちをつくる考え方の視点を持ち、地域それぞれの魅力を生かし、省エネルギーや健康管理に配慮し、防災、防犯までトータルに考えたコミュニティづくりがポイントと考えています。</p>			

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

質問通告番号第	5	号	質問議員	飯島 伴典	議員	担当課	学校教育課
質問要旨				答 弁			
				<p>スマートシティ構想を推進していくためには、市長部局と教育委員会の連携は、必要不可欠であると考えます。</p>			
				<p>現在、健康分野の特に「食育」に力を入れて部局横断的に連携し、減塩運動や学校給食を通じた地元産食材の学習、保育園児を対象とした食生活実態調査結果のフィードバックなど、全世代を視野に入れた「食育推進プロジェクト」取組を展開し、第2次上田市食育推進計画を強力的に推進しているところです。</p>			
				<p>小中学生の段階から食に関する知識を身につけ、健康的な食生活を実践することから、「食べる力」は「生きる力」を育むというデザインをスマートシティ構想の中で描いていきたいと考えています。</p>			

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

質問通告番号第	5	号	質問議員	飯島 伴典	議員	担当課	空家対策室
質問要旨				答 弁			
1 市政についての質問				市内にある空家については、平成28年度実施した「空き家等実態調査」の結果、3,415棟あることが判明しています。			
(1) スマートシティ構想について							
ウ スマートシティ構想では街並みのデザイン							
は重要な要素であり、土地の有効活用は大きく関連することを踏まえる中で、以下の状況				空家は、老朽化の度合いにより、A・B・Cの3段階に分類しており、			
についてはどうか。				Aランクは、「小規模の修繕による再利用が可能なもの」、			
(ア) 近年、大規模災害が多発しており、倒壊				Bランクは、「損傷は見られるが、当面危険性はないと考えられるもの」、			
寸前の空き家が倒壊するなどの被害が				Cランクは、「今すぐに倒壊や建築材の飛散等の危険性はないが、損傷が激しいと考えられるもの」となっています。			
懸念されるが、現状の対応実績はどう							
か。また課題は何か。				この内、最も老朽化が進んでいるCランク空家は、平成28年度には98棟			
				ありましたが、個別に対策を講じた結果、今年6月末時点で19棟(約2割)			
				が解体されています。その他、修繕等により改善されている空家も確認できて			
				いることから、これらを除き現在対応しているCランク空家は58棟となっ			
				ています。			

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

質問通告番号第	5	号	質問議員	飯島 伴典	議員	担当課	空家対策室
質問要旨				答 弁			
				次に、Bランク空家の476棟に関しては、老朽化の進行状況等について、			
				昨年度から再調査を開始しました。すでに丸子・武石地域は終了し、現在、上			
				田地域の確認作業を実施しています。			
				また、今年度から老朽危険空家の早期解消を図るため、主にCランク空家を			
				対象として、これを解体する場合、費用の1/2以内で上限50万円まで、国			
				庫補助を活用した補助制度を新設しました。			
				本来、空家は私有財産であり、所有者の責任において管理・解体等すること			
				が基本ですが、周辺住民の生活環境等に影響を及ぼす恐れのある空家の早期解			
				消を図るため、導入しました。			
				なお、この補助金に係る国の助成対象は、住宅地区改良法第2条第4号に規			
				定されている「不良住宅」ですが、今年度予定した10件分の申請は既にいた			
				だいています。			

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

質問通告番号第	5	号	質問議員	飯島 伴典	議員	担当課	空家対策室
質問要旨				答 弁			
				<p>現在も、この問合せ等を度々いただく状況であり、これをきっかけとして、老朽化し放置されていた空家の解体が着実に進み、所有者等の関心も高まっていることから、次年度以降についても実施していきたいと考えています。</p>			
				<p>空家対策を進める上での課題としては、老朽化した空家の中には、所有者が不在・不明なもの、また多数の所有者・相続人が存在するものもありますが、これらの所有者や相続人を特定するためには、地道に戸籍をたどる等の作業が必要となり、多大な時間や労力を要し、相続人等が特定できても代替わり等で話が進まず、なかなか解決に至らないのが現状です。</p>			
<p>(イ) 建築基準法による接道義務を満たさないことで、活用困難となっている物件数はどの程度あるか。</p>				<p>接道義務とは、建築基準法第43条の規定により、「建築物の敷地道路に2メートル以上接しなければならない」とする義務のことで、都市計画区域内に存在し、都市計画決定されていない区域では接道義務はありません。</p>			

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

質問通告番号第	5	号	質問議員	飯島 伴典	議員	担当課	都市計画課
質問要旨				答 弁			
1 市政についての質問				区画整理の基本的な考え方は、土地の形状を整え、接道義務を満たしながら、			
(1) スマートシティ構想について				公共施設整備及び宅地の利用増進を図る手法であり、接道義務を満たさないこ			
ウ スマートシティ構想では街並みのデザイン				とから活用が困難となっている空き家の課題解決に対して、効果のある手法と			
は重要な要素であり、土地の有効活用は大き				いえます。			
く関連することを踏まえる中で、以下の状況							
についてはどうか。				しかしながら、利用困難な空き家を含めてある程度の範囲を設定し、区画整			
(イ)...今後、課題解決に向けて、区画整理を				理を検討する場合、空き家に隣接する利活用されている土地への影響を考慮す			
進める必要があると考えるが、見解はど				ると、状況に応じた対策が必要であると考えます。			
うか。							

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

質問通告番号第	5	号	質問議員	飯島 伴典	議員	担当課	都市計画課
質問要旨				答 弁			
1 市政についての質問				<p>区画整理における現状と課題としては、一般的にそのエリア内の地権者全員の同意を基本として事業実施を検討しますので、住宅が密集した中心市街地のように1筆の土地面積が小さく、土地単価も高額であり、仮住居や仮店舗などの補償等も必要となる場合が多いことから、区画整理の実施については慎重に検討すべきと考えています。</p>			
(1) スマートシティ構想について							
ウ スマートシティ構想では街並みのデザイン							
は重要な要素であり、土地の有効活用は大きく							
関連することを踏まえる中で、以下の状況							
についてはどうか。							
(ウ)区画整理の現状と課題は何か。また、市							
内中心部の密集地域の整備を検討しては							
どうか。							

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

質問通告番号第	5	号	質問議員	飯島 伴典	議員	担当課	都市計画課
質問要旨				答 弁			
1 市政についての質問				国土交通省都市局が「スマートシティの実現に向けて」の中間とりまとめに			
(1) スマートシティ構想について				おいて、スマートシティという言葉の定義を、「都市の抱える諸課題に対して、			
ウ スマートシティ構想では街並みのデザイン				ICT等の新技術を活用しつつ、マネジメント（計画、整備、管理、運営等）			
は重要な要素であり、土地の有効活用は大き				が行われ、全体最適化が図られる持続可能な都市または地区」としています。			
く関連することを踏まえる中で、以下の状況							
についてはどうか。				都市計画としては、このようなスマートシティ構想につながるものの一つと			
(エ)都市計画とスマートシティ構想の関係				して、スマホ等により予約ができ、複数設置した駐輪場のどこでも賃借及び返			
性はどうか。				却ができ、キャッシュレス決済が可能となる電動自転車を用いたシェアサイク			
				ルの導入は、一つの有効な手段と捉えています。			
				シェアサイクルもその一つとなる自転車政策については、移動手段としての			
				発想だけでなく、環境エネルギーや都市交通の課題解決に加えて、市民の健康			
				増進、社会保障コストの縮減、産業の発展など、スマートシティ化の観点から			
				多くの分野への政策効果をもたらすものと推測されます。			

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

質問通告番号第	5	号	質問議員	飯島 伴典	議員	担当課	政策研究センター
質問要旨				答 弁			
1 スマートシティ構想についての質問				スマートシティ構想についてのビジョンに関しては、今後、有識者等からなる「上田市地域情報化推進委員会」において、議論を深めていくことになるため、現段階における考え方を示します。			
(1) スマートシティ構想について							
エ 様々な施策が連動するように設計するためには ICT 技術やビッグデータの活用が必要であるが、スマートシティ構想についてのビジョンはどうか。				国が掲げる「Society 5.0」では、人口減少や少子高齢化の進展に対し、AIやIoT等の最先端技術の活用により、経済発展と社会課題の解決の両立を目指すことが示されています。			
				また、今般の新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、これまでの対面を前提としていた社会システムに対し、改めて、業務等のデジタル化やオンライン化を早急に進める必要性が増大しています。			
				このことを受け、国が本年7月に策定した新たなIT戦略では、今後のニューノーマル社会における重要な視点として、「対面・高密度から『開かれた疎へ』」、「一極集中から分散へ」、「迅速に危機対応できるしなやかな社会へ」			

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

質問通告番号第	5	号	質問議員	飯島 伴典	議員	担当課	政策研究センター
質問要旨				答 弁			
				<p>という3つの視点を掲げ、「デジタル強靱化社会」の実現により、ソーシャルディスタンスを確保しながら、経済社会活動を維持し、経済成長を目指すことが示されています。</p>			
				<p>一方、市では「まちづくりビジョン」の中で、基本理念として、「市民力、地域力、行政力、それぞれが役割を果たし、協働のもと、まちの魅力と総合力を高めること」を掲げています。</p>			
				<p>したがって、ニューノーマル時代に相応しい上田市のスマートシティ化に向けては、市民と市民、市民と地域・行政がデジタルでより密接につながり、快適・安全・安心で、市民中心の持続可能なまちづくりが求められていくものと考えます。</p>			
				<p>このような考え方をベースとして、現在策定中の「上田市スマートシティ化推進計画」では、少子高齢化や人口減少の進展に加え、今般のコロナ禍やコロ</p>			

上田市議会一般質問【個別質問】・答弁書

令和2年9月 定例会

質問通告番号第	5	号	質問議員	飯島 伴典	議員	担当課	政策研究センター
質問要旨				答 弁			
				<p>今後の市の姿も見据えながら、行政データの有効活用と業務改革、地域課題の解決や産業振興等に向けた施策とともに、デジタル社会に対応した市民サービス向上の観点から、電子申請手続の利用促進等の施策についても具体化していく必要があると考えます。</p>			
				<p>スマートシティ化を進めるためには、複数分野のデータ連携による包括的なデータ活用も重要なことと認識しており、これを進めるにあたり、技術を提供する事業者や実施主体となり得る事業者との連携とともに、サービスを利用する市民の皆様等の理解と協力が不可欠になるものと考えています。</p>			
				<p>このような考え方に基づき、本年度中に「上田市スマートシティ化推進計画」を策定し、そこに盛り込んだ施策を、スピード感を持って、実行していくことで、市長公約である「上田再構築プラン」の「市民力を高めるまちづくり」、</p>			
				<p>「AIやIoT時代を勝ち抜くための産業振興」につなげるとともに、「総合計画」が掲げる将来都市像である「ひと笑顔あふれ 輝く未来につながる 健</p>			

